

教科名	数 学
-----	-----

○現状分析（生徒の学習状況についての実態および定期考査等を含む学力調査の結果等を踏まえた内容別・観点別の分析表）

学習状況の実態	内容別・観点別結果の分析
<p>生徒による希望に基づき、習熟度別少人数授業の学習形態をとっている。基礎クラス／標準クラス／発展クラスの3展開もしくは、基礎クラス／標準・発展クラスの2展開で授業を実施している。</p> <p>基礎クラスでは基礎的・基本的事項の定着を目指し、繰り返し学習が中心となる。教科書の「例題」や「問」の問題が自分で解決できることを目標にしている。既習事項の定着が十分でなく、基本的事項の習得の際、つまづくことが多い。</p> <p>標準クラスや発展クラスでは、基礎的・基本的な知識・技能の定着に加え、教科書の「章の問題」や発展的な課題に取り組んでいる。定期考査では「知識・理解」や「技能」に関する問題では得点を取りやすいものの、中には基礎・基本の定着が不十分である生徒も散見される。「数学的な見方・考え方」に関する問題に対しては得点が取れていない生徒が多い。応用問題への取組には個々により差異が見られる。</p> <p>どのクラスにおいても、多くの生徒が真剣に授業に取り組んでおり、たいへん良い。しかし、家庭での学習習慣が定着せず、十分ではない生徒が多い。</p>	<p>中学3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」結果によると、主として知識の分野では平均正答率が61%で、東京都の平均正答率66%より5%下回り、全国の平均正答率64.6%と比べても3.6%下回った。また、主として活用の分野では、平均正答率が47%で東京都の平均正答率50%を3%下回り、全国の平均正答率48.1%を1.1%下回った。</p> <p>この結果から、特に知識や技能の定着において、より大きな課題があることがわかる。</p> <p>また、生徒への質問に対する回答から以下の3点において、課題があることが明らかとなった。</p> <p>① 「数学の勉強は大切だと思いますか」との質問に対する回答で「当てはまる」と回答した割合が35%程度であり、東京都及び全国と同回答の割合47%程度と比べて12%程度低い。</p> <p>② 「数学の授業の内容はよく分かりますか」との質問に対する回答で「当てはまる」と回答した割合が22%程度であり、東京都や全国と同回答の割合32%程度と比べて10%程度低い。</p> <p>③ 「数学ができるようになりたいと思いますか」との質問に対する回答で「当てはまる」と回答した割合が69%程度であり、東京都や全国と同回答の割合73%程度と比べて4%程度低い。</p>

(書式3)

## 指導方法の課題分析と授業改善策

教科名	数 学	教科主任	山下 昌孝
-----	-----	------	-------

### 1. 指導方法の課題と具体的な授業改善策及び補充指導等の計画

#### <第1学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
「生徒による授業評価アンケート」(7月実施)から ・興味・関心は高く、授業への取組も悪くはないが、家庭学習は不足していると思われる。 ・少人数指導により、特に基本的な計算のフォローが必要と思われる。	・これまでの基礎・基本の定着を図るきめ細かい指導を継続させると共に、グループ活動や話し合い活動を取り入れることにより、変化のある授業形態を目指していく。 ・より実生活に身近な教材を取り入れることにより、興味・関心を高めていく。	・少人数クラスを習熟度別で編成することにより、より生徒の実態に即した授業を展開していく。 ・補充的な学習が必要な生徒については、夏季補充教室や演習の時間に個別指導を行っていく。 ・課題を消化した生徒には、ワークや補充問題等で発展的な学習に取り組ませていく。

#### <第2学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
定期テストや東京都学力調査の結果から ・自分の考えなどを筋道をたて、表現する力が課題である。 ・得点分布に二極化の傾向が見られる。これらのことから基礎・基本の定着に重点を置いた授業展開が必要である。	・習熟の程度に応じた読み取る力、説明(自分の考えを発表する)力の向上を目指し、繰り返し練習する。 ・家庭学習の定着を目指す。 ・興味を引く教具・教材の準備に力を入れ、生徒の意欲を高め、理解を深める。	・少人数授業の特性を生かし、考えを書く、発表するなど、生徒の考えを深めるような指導を行う。 ・課題を消化した生徒には、プリントや板書などを使用し、発展的な内容に取り組ませる。

#### <第3学年>

指導方法の課題の分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な学習指導計画
定期テストや全国学力調査の結果から ・基礎・基本の定着に重点を置いた授業展開が必要である。 また意識調査の結果から ・生徒の意欲・関心を引き出す授業展開が必要である。 ・予習や復習の定着を促す声かけが必要である。	・基礎・基本の定着のため、丁寧な説明を心がける。演習の時間を増やし、机間指導による個別の声かけに重点を置く。また、簡単な確認テストなどを実施する。 ・趣向を凝らした授業の導入や生徒の興味を引き立てる教具・教材を提示する。 ・授業始めに復習の時間を取り、一人ひとりがしっかり復習等に取り組むことができたかどうかを振り返る時間を設ける。	・小テストや課題などを通して、生徒の理解度を個々に把握して的確な机間指導を行う。 ・課題を消化した生徒には、プリントや板書などを使用し、発展的な内容に取り組ませる。 ・昼休みや放課後などに気軽に質問できるような環境を作る。